

「学校版もったいない運動」 令和6年度取組み目標の達成状況

令和6年11月13日

提出

行政番号 153

学校名 篠崎第五小学校

校長名 山田 勇一郎

担当者名 朽木 良美

1 篠崎第五小学校の具体的な取組み内容(令和6年度目標)の達成状況

取組み目標①

水量を調節し、使わない間は止める

具体的な実施方法及び数値目標

水を出しっぱなしにしないように児童への指導を徹底し、水を出している時間を現在の半分にする。

上半期の上記目標の実施状況及び達成状況をご記入ください。

水道に関しては、目標値の96%の使用量となり、目標を達成することができた。教職員が児童に、必要以上に多く水を出さないように水量を調節することや使わない間は止めることなどをこまめに声掛けしたことにより、児童の意識が高まってきたと考えらえる。今後も、学校全体で節水を意識していけるように取り組んでいく。

取組み目標②

給食の食べ残しを減らす

具体的な実施方法及び数値目標

給食では盛られた分だけ食べ切ることを指導し、毎月の生ごみ回収量を前年度比-1%となるようにする。

上半期の上記目標の実施状況及び達成状況をご記入ください。

生ごみに関しては、目標値の121%の量となり、目標を達成することができなかった。給食では、児童は初めに自分で食べられる量を調整し、盛った分を食べ切っている様子が見られる。給食での指導は、これまで通り行い、残食を多く出さないことに取り組んでいく。また、どのようなところで生ごみを減らしていけるかを栄養士とも相談し、対策を講じていく。

取組み目標③

使用していない教室、トイレ、更衣室、給湯室など、人が常時いない場所ではこまめに消灯する

具体的な実施方法及び数値目標

児童が教室間の移動等の際には照明を消灯する当番を決めたり、職員の間でも担当を決めたりして、年間を通して、人がいない教室の電気の消灯忘れを0%にする。

上半期の上記目標の実施状況及び達成状況をご記入ください。

電気に関しては、目標値の94%の使用量となり、目標を達成することができた。人がいないところの電気がつけっぱなしになっているときがまだ見受けられるので、教員・児童ともに消灯忘れを0%にできるよう引き続き取り組んでいく。